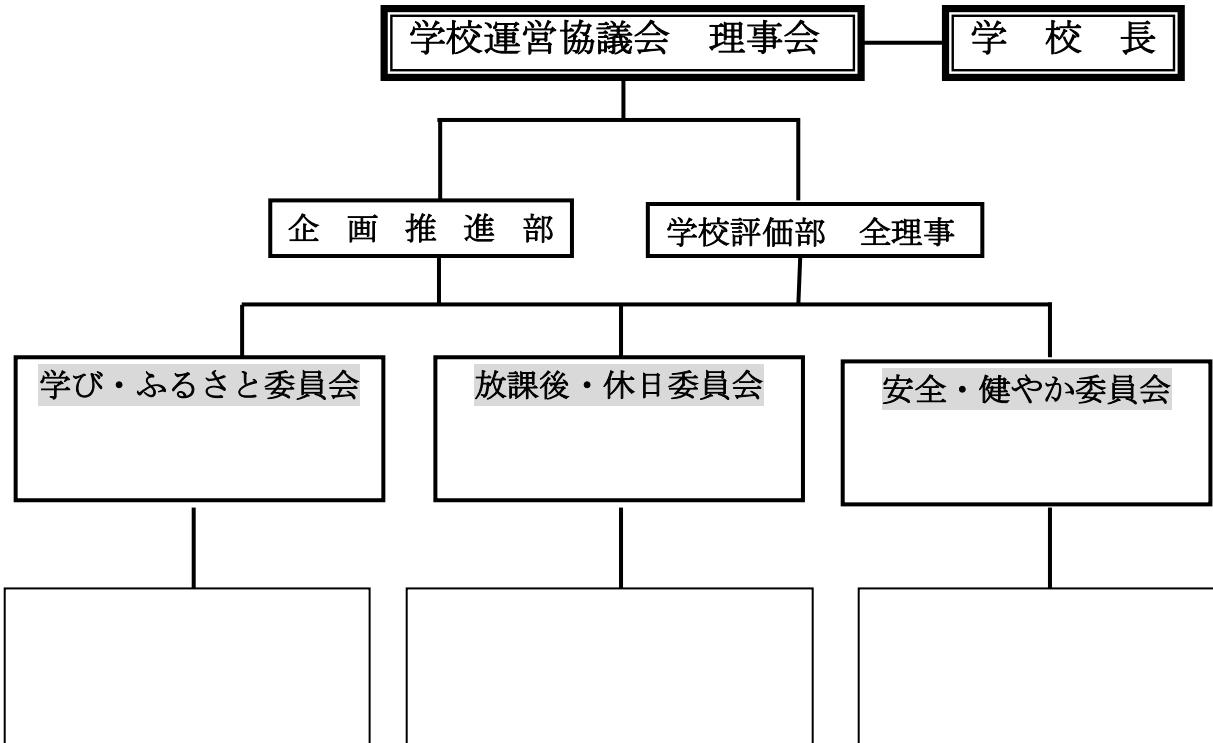


[学校運営委員会 組織図]



◎「学び・ふるさと委員会」

確かな学力の定着に向け、地域の人材・地域の教材を活用したい。本校校区は、農業を中心に、豊かな自然と伝統が息づく地域である。社会科や生活科・総合的な学習の時間において、米作り・野菜作り・茶摘み等の学習を体験的に展開する中で、確かな定着・自分たちの地域への理解を進め、さらにそれを誇りに思う心を感じ取らせたい。向島には、永年、京都市民の胃袋を満たしてきた歴史がある。米にしろ、野菜にしろ、田や畑に足を入れた、あの時の感触や、農家の人に比べものにならないが、それでも自ら植え、成長を見守り、天候に一喜一憂し、収穫をした米を炊いて食べる味は、教科書の活字だけからは会得できない貴重なものである。今後も、さらに教材・人材の発掘を進め、「こんなことなら できますよ」という地域からのボランティアの提供も受けたい。

◎「放課後・休日委員会」

特に、子どもと大人のふれあいを意識した委員会である。放課後や休日を如何に過ごすかは、当の子どもにとっても、保護者にとっても大きな関心事であり、心配事のひとつでもある。委員会では、休日の過ごし方は子どもの成長にとって極めて大切であると捉え、子どもの体験や交友を広げる機会にしたいと行事を企画・運営している。

子どもの自主的な「遊びの場」と安全で健やかな居場所の充実のための「放課後まなび教室」を、この委員会に位置づけ、実施に向けボランティアの発掘に力を入れる。

◎「安全・すこやか委員会」

子どもたちの健全な成長を願い、PTAと地域の方々を中心に夏のパトロール、あいさつ運動を行っている。子どもたちに活動を通して、地域のみんなが見守っているよという思いを発信するとともに、挨拶も含め、子どもたちには、コミュニケーション能力を育てる場ともなっている。

また、教職員からは生徒指導主任をこの委員会に配し、友達から離れ、一人さみしい思いをしている子がいるように、「一人ぼっちの子を出さない」こともねらいの一つとしている。